

鹿沼市交通指導員会は 設立50周年を迎えます

生活課交通対策係 ☎(63)2163

交通指導員は、市長からの委嘱を受け、交差点などに立って、子どもたちが安全に登校できるよう交通指導をしています。

現在市内では、42人の交通指導員が活躍しており、天候にかかわらず、登校日は毎日立哨指導をしています。

また、さつきマラソンなどのイベントでも交通整理を行い、事故が起きないようにサポートしています。

七宝焼きの記念ピンバッチを作成しました

50周年を記念して作成したもので、立哨時等に身に着けてもらうよう、指導員の皆さんに配布する予定です。



早朝、通学する児童・生徒を見守る神山高久交通指導員

交通指導員の歴史

戦後から昭和45年頃、日本国内の交通事故死亡者は著しく増加し、「交通戦争」という言葉が生まれるほどでした。

交通安全の確保は社会問題となり、昭和45年に交通安全対策基本法が公布され、第1次交通安全基本計画が策定されるなど、国をあげて交通安全対策が進められました。

こうした中、通学児童の交通事故を防止すべく、昭和46年4月1日に鹿沼地区交通指導員連絡協議会を鹿沼市、旧西方村、旧粟野町の3市町村で結成し、交差点などの危険箇所に交通指導員を設置しました。



まさこ 藤田正子交通指導員

交通指導員の皆さんに話を聞きました

神山高久さん(上野町交差点担当)
現在まで35年間、交通指導員として交通指導をしています。新任の頃に小学校1年生だった子も、今は40歳を越えました。
今年3月で退任しますが、たくさんの子の通学を見守れたことを誇りに思います。



黒田重光さん(北小学校北側担当)
毎朝、あいさつを交わす子どもたちの元気な声に、癒やされています。

今後も声掛けを継続し、安心、安全に学校へ通えるよう、周囲の協力を得ながら続けていきたいと思っています。



まさこ 上田寿々子交通指導員

組織改編ごみ収集

交通指導員

eCOの環

消防表彰

火災予防北小改修

市民のひろば

フラッシュ・健康

お知らせ

ジュニア版画大賞